

平成30年度 人生の最終段階における医療体制整備事業 (あいちACPプロジェクト) について

1 目的

人生の最終段階における医療・ケアに対する希望について、意思決定支援を行う相談対応力を向上させるための研修を、医師、看護師、医療ソーシャルワーカーなど地域の医療介護福祉従事者を対象に実施することにより、県民が人生の最終段階を個人の尊厳や意思がより尊重された形で心穏やかに過ごすことのできる医療提供体制の整備を図る。

※ACP（アドバンス・ケア・プランニング）：人生の最終段階に受ける医療・ケア等について、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うプロセスのこと。

2 実施期間

平成30年4月から平成31年3月まで

3 委託先

国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター

4 実施研修

(1) 講師人材養成研修会

概要	相談対応力向上研修会の講師を担い、愛知県の地域づくりに貢献するリーダーを養成するために、各専門職能団体から推薦された人材に対し、ACPに関する研修会を開催。
日時	【1日目】平成30年7月14日（土）13時30分 ～ 17時40分 【2日目】平成30年7月15日（日）10時00分 ～ 16時35分
場所	ウイंकあいち 会議室902
修了者数	82名

(2) 相談対応力向上研修会

人生の最終段階における医療・ケアについての意思決定を支援できる人材を養成するために、地域バランスを考慮し選定された地域拠点10か所において、入院医療機関及び在宅関連施設に従事する医師、看護師、医療ソーシャルワーカーなどの多職種を対象に、講義、グループワーク、ロールプレイ等で構成する、研修会を開催。

※ 研修実績については別紙参照。

(3) フォローアップ研修会

相談対応力向上研修会の受講者を対象に、現場での実践を踏まえた新たな課題への気づき等を生み、研修受講者の成長をフォローアップするための研修を相談対応力向上研修会と同箇所で開催。